

毎週日曜発行  
2022 11/20

こども新聞  
週刊がほピョンプレス

河北新報社 TEL.022-211-1111(月曜から金曜)



こども記者が取材

ニュース



# 盲導犬の役割って？

きょうのテーマ



盲導犬について理解を深め、PR犬フタバと触(ふ)れ合う  
(左から)後藤さん、桜井さん、清野さん

盲導犬って知ってる？  
目に障害のある人が安全に外出できるように、サポートする犬だよ。こども記者の仙台市大野田小6年後藤有咲さん(11)と八幡小6年桜井

同センターの広報担当黒田匠さんとPR犬のフタバ(7歳・雌)が、3人を出迎えてくれました。フタバは、黒田さんが「シット(座れ)」と言うと、そばにおとなしく座りました。

みらいさん(12)、館小6年清野智優さん(12)が、日本盲導犬協会仙台訓練センター(青葉区)で、盲導犬の役割や現状取材しました。

みんな思い出

みんな動こう

# 安全な外出をサポート

みんな知りたい

みんな守ろう

みんなトモダチ

盲導犬には「ゴー、ストレート(まっすぐ行け)」 「グッド(よくできました)」など、英語で指示します。後藤さんが理由を尋ねると、「日本語は、



役割について、黒田さんは「目的の地まで道案内すると勘違いする人が多いため、ユーザーに、段差や障害物、曲がり角を伝えるのが仕事です」と、実際にフタバと歩きながら説明しました。

黒田さんによると、人との共同作業や環境への適応が得意なことから、犬種はゴールデンレトリバーとラブラドルレトリバーが適しているそう。1歳から訓練を始め、2歳から10歳ぐらいまで活動します。

盲導犬は、法律で定められた身体障害者補助犬の一つ。全国に848頭、宮城県には23頭います。育成する団体は全国に11あり、同センターでは現在、約20頭を訓練中です。希望する人に、無償で貸し出されます。

清野さんは「子どものうちから理解できるように、小学校の全学年で盲導犬を取り上げる授業をしたらいと思います」と提案しました。

取材後、後藤さんは「盲導犬について理解することで社会的バリアーを取り除き、みんなで住みやすい街をつくるのが大事だと分かりました」、桜井さんは「利用者を見かけたら『盲導犬をお連れの方、何か困っていることはありませんか』と声がけしたいです」と振り返りました。



例えば方言や男女で言い方が変わる。英語は変わらないので、犬が理解しやすい」と答えました。清野さんは「災害時に避難所で盲導犬を断られたらどうしますか」と質問。黒田さんは「東日本大震災のときはなかったと聞いていたが、可能性はゼロではない。日頃から積極的にPRし、理解してもらう必要があります」と話しました。

## 今週の注目ニュース

◇24日(木) 「和食」の日  
「いい(1)に(2)ほんしょ(4)く」の語呂合わせから、日本の食文化を見直し、和食文化の保護・継承の大切さを考えようと制定されたんだ。和食は、ユネスコ無形文化遺産にも登録されてるんだよ。

2面	みんなのギモンにこたえるモン
3面	3分チャレンジ
4・5面	わが校わがまち スクール通信
6面	聞いて学べる こども英語
7面	投稿特集
8面	世界が熱狂！W杯サッカー

みんなの紙面